



みんなで育む 学びのまち 真室川

～ふるさとを愛し 高い志をもって 未来をひらく 人づくり～



スタディツアー 学びのしおり

小学生からOK!
大人の社会科見学 第1弾

真室川
スタディツアー
いま、真室川が
おもしろい!
「歴史編」
令和元年6月29日(土)
8:30～

真室川町を学ぶ一日。
新たな気づきで、真室川
町がもっと好きになる!

国指定重要文化財
新町 正源寺 土偶

日本一小さいハッチョウトンボ
町指定天然記念物
中村湿原

鮭延秀綱の城
内町 鮭延城跡

町指定文化財
砂子沢木造蓮師如来座像

町指定文化財
新町 正源寺 山門

町指定文化財
内町 綱造如来倚像

国指定重要文化財

真室川町立歴史民俗資料館

真室川飛行場史跡資料館

野々村 真室川飛行場跡

さなぶり手仕事まつり

令和元年6月29日(土)

【ツアー行程】マイクロバスによる移動となります

国重文 ⇒国指定重要文化財

町文

⇒町指定文化財・天然記念物

受付(8:00～8:30) ⇒開講式⇒真室川町立歴史民俗資料館⇒町内眺望⇒

砂子沢薬師堂⇒中村湿原⇒昼食(さなぶり手仕事まつり見学・各自昼食) ⇒正源寺

⇒鮭延城跡⇒内町薬師堂⇒野々村真室川飛行場跡⇒閉講式(16:30終了予定)

※雨天決行の予定ですが、天候や所有者の都合等によりコース変更や中止となる場合もあります。ご了承ください。

※昼食は「さなぶり手仕事まつり」会場等での飲食となりますが、お弁当持参も可能です。

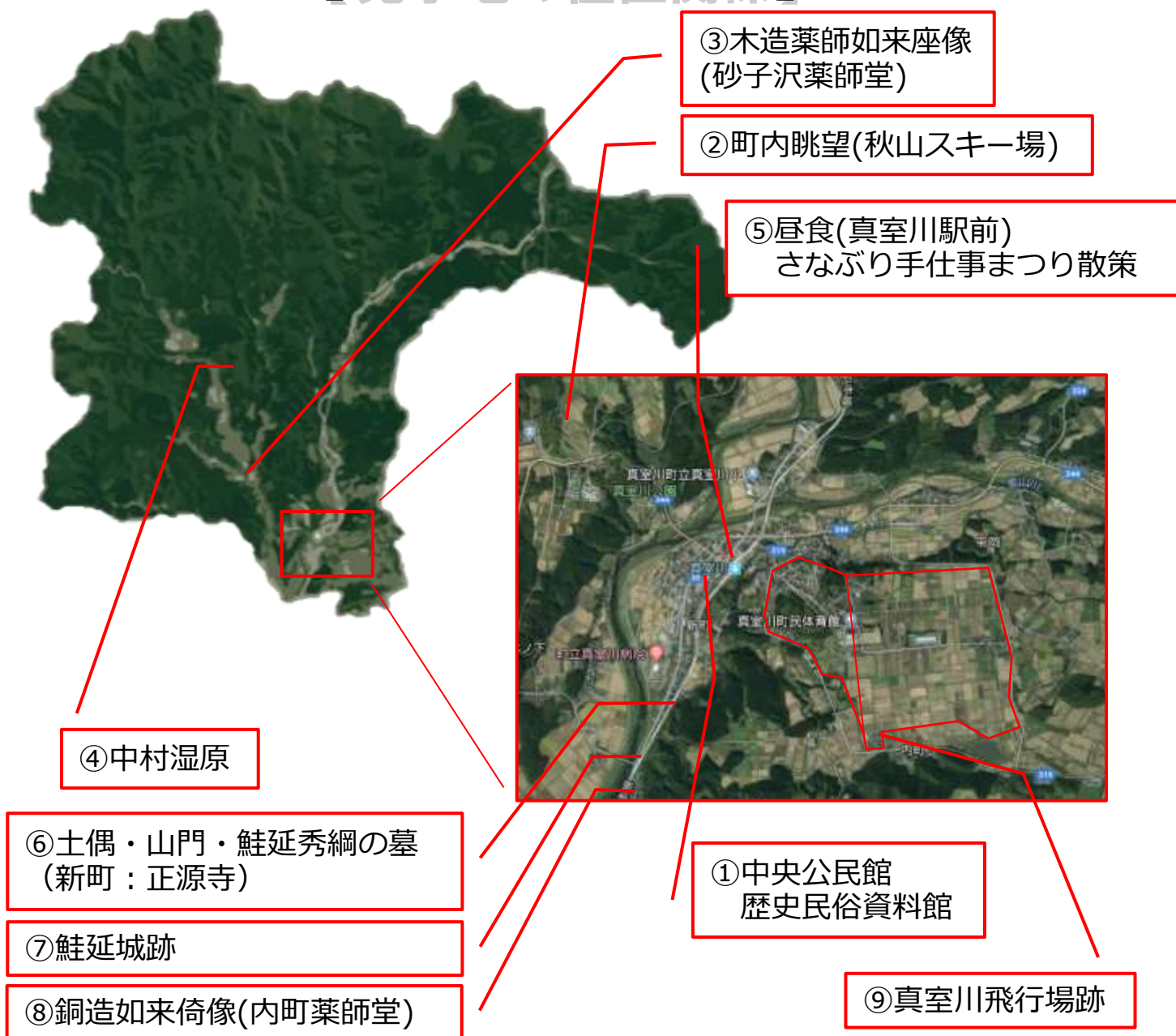
真室川町教育委員会 真室川町中央公民館

【スタディツアーについて】

真室川町のスタディツアーにご参加いただき、誠にありがとうございます。

真室川町にはたくさんの宝物がありますが、地域の方々からは「真室川町には何もない」との声がしばしば聞かれます。子ども達は学校での「ふるさと学習」により、地域の宝物を多く学んでいます。しかし、その親・祖父母世代である大人は、真室川の本物の宝物や魅力を知らないままに生活している方が、案外いらっしゃるのではないのでしょうか。そのようなことから、今回、改めて地域の宝を再発見する社会科見学を企画しました。子ども達と一緒に大人も町の良さを見つめなおすことで、「真室川町にはいいところがたくさんある」と自信を持って言える方が増えることを期待しています。

【見学地の位置関係】



【真室川町の概要】

(令和元年5月末現在)

- 面積：374.22k m² (約 87%が森林)
- 人口：7,637 人
- 世帯数：2,715 世帯
- 町の木：梅の木
- 町の花：梅の花
- 町の鳥：ウグイス
- 町の昆虫：ハッチョウトンボ
- 町の魚：ハナカジカ
- 町の音頭：真室川音頭

山形県の内陸最北部に位置し、北側は秋田県に接している。約 87%が森林の中山間地域であるため、古くから林業、農業が盛んである。また、各地区には伝統文化が数多く継承されており、番楽、囃子、わらべ唄のほか、伝承野菜なども引き継がれている。

①真室川町歴史民俗資料館

第一展示室

- ◎ 薪 約100点
- ◎ 木挽風景 (人形)
- ◎ 山林写真パネルと樹木
- ◎ 山仕事の用具
- ◎ 民具と農具 (炭・釜・釜・樽等と臼)
- ◎ わらべ頭 (子供人形2体)






第二展示室

- ★ 郷土が生んだ芸術家 中川木鈴 (版画家)
- ★ 先生の作品と資料
- ◎ 描 (スケッチ・色・筆)
- ◎ 郷土で――
- ◎ 版画・日本画
- ◎ 紙 (写物・扇木)




展示ホール

- ◎ 町の立体模型図 (縮尺1/25,000)
- ◎ 郷土の武具 越後秀綱
- ◎ 町のおゆみ (舟車)
- ◎ 農匠の等身大人形
- ◎ 郷土の作家 真室二郎
- ◎ 写真パネルと山野の鳥獣
- ◎ 埋れ木
- ◎ 土偶 (レプリカ)





この資料館は、昭和 56 年、「山と人々の暮らし」というテーマでオープンした。施設は正面ホールと第 1 展示室、第 2 展示室に分かれており、正面ホールには町内に生息する動物のはく製や化石などが展示されている。中山間地域である真室川町は古くから林業が盛んであり、第 1 展示室には多くののこぎりをはじめ、山林に関する展示がされている。第 2 展示室は町が誇る版画家「中川木鈴」に関する展示を行っている。また、年数回開催される企画展では、わら細工やチェーンソーアートなど様々なテーマで見学者を楽しませている。

【メモ】

②町内眺望（秋山スキー場）



秋山スキー場の頂上から、町の中心部を眺望。天候が良ければ、奥羽山脈までの地理的環境が確認できる。

【メモ】



大沢地区砂子沢楯跡にある砂子沢薬師堂の本尊として祀られている尊像である。像は檜材の寄木造りで像高 66.1 cm と小柄な像であるが、づくりの優れた逸品である。面相は優美淡麗で水晶で白毫と玉眼を入れ、豊満な姿体から鎌倉時代の作とみられたが、修復調査の結果、平安時代中期の作と判明。山村には珍しいもので、おそらく中央の仏師によってこの地に移されたものであろう。中央文化の地方普及を物語る資料である。昭和 59 年 3 月 19 日、町の文化財に指定。

【メモ】

■砂子沢薬師堂についての概要

※砂子沢館と薬師堂

大正十一年九月安楽城村誌を編集された沓澤彙蔵氏くわそくによる。

今から六百年前、秋田より来た佐藤隼人はやとにより築かれたと言う。
元和六年鮭延氏領地となり佐藤隼人はやとは百姓となり大沢一円の筆頭となり代々善兵衛を名乗り分家多数を保有し、館の南方には石盛や石器類もあったと言っている。

又、地区の長老の話でも佐藤隼人はやとが築かれたと言いい伝えとなつている、その当時は雄杉・雌杉の大木があり、直径三メートルもあったそうです、後に明治十五年に伐採されたとの事です。

※平成の大修理

木製彫刻保存修復家 岡田 靖博士の見解

平安中期頃の作で江戸時代の初めと終り頃に修復されたと推測。
木材は寄せ木づくり、古い木材は七百七十二年頃で新しい木材は一六一六年頃（あすなるの木）

※修復経緯等は次頁参照

※薬師如来坐像修復事業経過

- ① 薬師如来坐像資料館展示 平成二十四年六月五日～十四日
- ② 修復見積書提示 平成二十七年四月二十五日
- ③ 事業実績報告 平成二十七年五月七日
- ④ 修復契約書締結 平成二十七年五月十六日
- ⑤ 薬師如来名古屋屋に出発 平成二十七年五月十七日
- ⑥ 岡田先生より中間報告 平成二十七年十一月十三日
- ⑦ 薬師如来坐像資料館へ 平成二十八年四月二十九日
- ⑧ 岡田先生講演会 平成二十八年四月三十日
- ⑨ 薬師如来本堂へ納入 平成二十八年六月一日
- ⑩ 薬師様修復完成祝賀会 平成二十八年六月十二日

※砂子沢地区民と薬師様とのかがわり

- ① 元朝詣り 一月一日 朝七時より
- ② 八十八夜のお参り 五月二日 地区清掃は一週間前
- ③ 地区祭り 八月十五日 事前に地区一斉清掃
- ④ 二百十日のお参り 九月一日 地区清掃は一週間前
- ⑤ 雪囲い・取り 十一月初旬、四月初旬
- ⑥ 雪下ろし 降雪状況による

作成 令和元年 六月吉日 砂子沢区長 小松喜平

協力 (前区長) 小松定夫氏

④中村湿原

町指定天然記念物



サギソウ

トキソウ

サワラン

ハッチョウトンボ

モウセンゴケ

真室川町の中村地区にある湿原。イボミズゴケ・ハリミズゴケを主とする湿原で、底部に厚い泥炭層を伴っている。泥炭はミズゴケなどの湿性植物が炭化したものである。中村湿原は地すべりにより生じたものといわれており、沼沢地であった所が、周囲から植物の繁茂、堆積から低層湿原へ、さらに高層湿原へ移行する途中の中間湿原と考えられる。平成 26 年 5 月 16 日、町の天然記念物に指定。

【メモ】



写真1 ヤマドリゼンマイ



写真2 ヤチスギラン



写真3 ミツガシワ



写真4 オモダカ



写真5 ヒツジグザ



写真6 イヌタヌキモ



写真7 サワラン



写真8 トキソウ群落



写真9 ノハナショウブ



写真10 ミズチドリ



写真11 コオニユリ



写真12 コバギボウシ



写真13 ミタケスゲ



写真14 ミソハギ



写真15 オオニガナ



写真16 ミズオトギリ



写真 17 エゾリンドウ



写真 18 ウメバチソウ



写真 19 サギソウ



写真 20 サギソウ群落・ヤチカワズスゲ



写真 21 サギスゲ群落



写真 22 ツマグロヒヨウモン♀



写真 23 ドクゼリ



写真 24 キンラン



写真 25 ハッチョウトンボ♂



写真 26 ハッチョウトンボ♀



写真 27 モウセンゴケに捉えられた
ハッチョウトンボ



写真 28 アマゴイルリトンボ♂



写真 29 キイトンボ♀



写真 30 オゼイトンボ♂



山形県内はもとより東北各地から70の作り手が真室川に集結！
 手仕事の楽しさにどっぷり浸れる3日間
 土日は商店街が「歩行者天国」に！飲食ブースも充実！
 郷土料理「みず汁」ドーンとおふるまい（6/29・30）ここだけの味覚も！

東北山形真室川
手
 まつり
 さなぶり
 仕事

6月 **28** **29** **30**
 金 土 日

10:00-16:00 (最終日15:00まで)

会場 真室川町駅前商店街・森の停車場・家具のおだ・山形銀行真室川支店駐車場
 ※初日(6/28)は「森の停車場」と「家具のおだ」の2か所のみとなります。入場無料

主催/さなぶり手仕事まつり実行委員会 ●共催/真室川町・真室川おこし隊 ●後援/真室川町観光物産協会・もがみ中央農協・山形銀行真室川支店・もがみ北部商工会真室川支部 ●問合せ ☎090-3125-2500(事務局 高橋)

さ 食とステージ あがしやれ真室川「みず汁」お振る舞い【土日】/春夏秋冬真室川 真室川の味覚【土日】/大沼養蜂 はちみつ・もつ煮・炊込ご飯【金土日】/JuJuマルシェ&からあげ十兵衛 カレー&唐揚げ【土日】/bino自家焙煎珈琲【土日】/いずむ 米粉たこ焼き【土日】/カフェクダエン 抹茶・抹茶ラテ【土日】/AOMUSHIもがみイタリアン【土日】/ずみやのくらし 炭スイーツピザバーガー【土】/ホテルピ堂 キッシュと焼き菓子【土】/住吉屋菓子舗 県産米粉のお菓子【土】/肉の山形や 山形牛メンチカツ【土】/ドーナツ小屋 maaru 米油揚げ全粒粉ドーナツ【土】/あおいそら 米粉パン【日】/慢瑤茶 オーガニック台湾茶【日】/Umui いつも通りの Umui 弁当【日】/げたばん 自家製酵母パン【日】/眺海せんべ工房 ごませんべ【金土日】※の3店はおた家具内出展/新庄吹奏楽団【土】/でこぼん2【土】/鶴岡ウインドオーケストラ【日】(ステージ雨天中止あり)

な モダン系エリア こだわ工房 木工品/しな織とんぼ しな織りや古布のバッグ・小物/oda かく オイル仕上げ家具WS:木工小物¥1000 /和・手しごと工房 和布リメイク服・小物/ねんどざんまい 紙粘土作品/青いどんぐりと風 とんぼ玉と草木染ストール【土日】/宮城興業株式会社 革靴のハギレ皮でモノづくり【土日】WS(土のみ):革小物¥650 /小華日和 布小物・ブローチ【金土】WS:羊毛フェルトの針山¥400 /UWILA パワーストーンストラップ【金土】WS:ストラップ¥800~/カイロブラックティックホットISmile カイロ体験とハーブティー【金土】/ピクルス 布もの編み物刺繍【土日】/toitotitoy 布小物・アクセサリ【土日】/ぐるぐる屋 手描一点もの傘・バッグ【土日】WS:コースター・ミニ本キーホルダー各¥300 /Ketty アクセサリー・パー・バリウム【土日】/沢原はげごの会 PPバンドのはげごバッグ【土日】/はりいとけんきゅうしつ 彫金ジュエリー・おたが三兄弟 笹野一乃彫実演も【日】/彫金工房 指輪・シンプルアクセサリ [モダン系エリア曜日表記なし]【金土日】出展

り 伝統系エリア 丁山工房 山葡萄皮細工/平枝地区炭焼き保存会 ミニ炭俵/うるし工房学 真室川漆の漆器/秋田・川連塗 寿次郎 川連漆器/真室川伝統工芸品つる細工研究会 山葡萄や胡桃のカゴバッグWS:山葡萄樹皮ストラップ¥500~/御新庄東山焼 カップ&ソーサー・皿/木っばや 山葡萄皮細工/小物ぶどう屋 山葡萄樹皮のストラップ/ひょうたんの灯り ひょうたんランプ/手づくり工房三里 つる細工・わら細工/YUIKOUBOU 植物繊維の装飾品/工房森の精 木の笛・木工雑貨/kibori 木彫アクセサリ【土日】WS:木彫りブローチ¥1,000~/ [伝統系エリア曜日表記なし]【金土日】出展

ふ 手仕事ストリート BANWANROSE クールでカワイイ手作り洋服/Twinkuru ぐるぐるバッグ/る一つ企画 写真家と絵描きの写真絵本【金土日】/工房ストロー 蒭細工【金土日】/シブヤ風〜工房 ペットボトル風車【金土日】WS:ペット風車¥500/3ML WORKS 白樺や秋田杉の木工品/One2 日本の木の皿・積み木/鏡畳店 畳プロダクト/木工房楓舎 広葉樹の椅子・机/itonami 麻の繊維から糸や布WS:麻糸積み¥500 /手仕事工房ふれあいつる細工各種【金土日】/流木アート松田 流木家具/Cherie の家 バッグ・布小物/十文字和紙 和紙の帽子・小物/天然石アクセサリ工房「翠聖」天然石アクセサリWS:プレスレット¥800 /工房と☆あ〜る 米袋バッグ【土】WS:ミニ米袋バッグづくり/しようえい 北海道の木のアクセサリ・雑貨【土】/rin-ne 暮らしに寄り添う布もの【土】/工房のさん トンボ玉アクセサリ【日】/蔵六面工房 50種の張り子面と人形【日】WS:張り子面絵付け¥1000~/ [手仕事ストリート曜日表記なし]【土日】出展

◎車両通行止 ① ②
 イベント期間中のうち 6/29(土)と 30(日)に関しては 8:30~17:00 までマップ斜線部分が車両通行止となります。ご不便をおかけしますがご協力おねがいします。

◎駐車場のご案内 P
 真室川町役場・真室川駅・もがみ中央農協真室川支店駐車場がご利用できます。

◎クーポン券
 イベント出展者ブースでのお買い物金額に応じて今回のイベントエリアに立地する14店(右図に黄色■で表示)でイベント期間中から7/15(月)まで使えるお得なクーポン券が発行されます。この機会に是非地元のお店にも足をお運びください。



WS・・・ワークショップの略「モノづくり体験あり」のブースです。<事前予約不要>

さ 食とステージエリア(山銀 P)出展者のご案内



出展者	出展内容	28日	29日	30日	出展者	出展内容	28日	29日	30日
大沼養蜂	純粋天然はちみつ・もつ煮・炊き込みご飯	な	○	○	ホテルビ堂	自家栽培の野菜を使用した キッシュや焼き菓子	—	○	—
あがらしや真室川	「みず汁」お振る舞い	—	○	○	住吉屋菓子舗	県産米粉のケーキと和菓子	—	○	—
春夏秋冬真室川	真室川の自然の恵み	—	○	○	肉の山形や	山形牛入りメンチカツ	—	○	—
JuJuマルシェ&からあげ十兵衛	スパイスカレー&鶏唐揚げ	—	○	○	ドーナツ小屋 maaru	米油で揚げた全粒粉ドーナツ	—	○	—
自家焙煎珈琲の店bino	挽きたて淹れたてのスペシャルティコーヒー	—	○	○	米粉パン あおいそら	おいしい焼き立て米粉パンをどうぞ	—	—	○
農事組合法人 いずえむ	自社産米粉で米粉たこ焼き	—	○	○	台湾喫茶 慢瑤茶	オーガニック台湾茶	—	—	○
カフェクダエン	本物の抹茶・抹茶ラテ	—	○	○	でこぼん2	29日、11:00頃からライブ開始	—	○	—
AOMUSHI	もがみイタリアン	—	○	○	新庄吹奏楽団	29日、13:00頃から演奏開始	—	○	—
すみやのくらし	炭入りおかし・ピタパンバーガー	—	○	—	鶴岡ウインドオーケストラ	30日、13:00頃から演奏開始	—	—	○

な モダン系エリア(家具のおだ)出展者のご案内



網掛は「体験あり」のブースです。

出展者	出展内容	28日	29日	30日	出展者	出展内容	28日	29日	30日
彫金工房	身につけやすいシンプルアクセサリ	○	○	○	宮城興業株式会社	革靴メーカーです。ハギレ皮でモノづくり	—	○	○
odaかく	蜜ろう仕上げの木工品	○	○	○	ピクルス	主婦3人組の素朴な手仕事	—	○	○
こだわり工房	木工品各種	○	○	○	toitotoi-ys	普段使いしやすい布小物やアクセサリ	—	○	○
しな織 とんぼ	しな織りや古布のバッグ・小物	○	○	○	ぐるぐる屋	ひとつずつ描きた一点もの傘・バッグ	—	○	○
眺海せんべ工房	眺海ごませんべが一番人気	○	○	○	Ketty	アクセサリ・ハーバリウム	—	○	○
和・手しごと工房	和布でリメイク服や小物作ってます	○	○	○	沢原はげの会	PPバンドのカラフルなバッグがいっぱい	—	○	○
ねんどざんまい	紙粘土細工とハーブ	○	○	○	はりいとけんきゆうしつ	彫金ジュエリー作家と津軽ござん刺し作家	—	—	○
小華日和	色々な布でちくちく作ったオリジナル	○	○	—	buricolage	アクセサリやバッグ	—	—	○
カイロプラクティックホッと！ Smile	カイロ体験とハーブティー	○	○	—	笹野一刀彫 おたか三兄弟	米沢の伝統工芸笹野一刀彫作品各種	—	—	○
UWILA	あなただけのストラップを楽しく作ろう！	○	○	—	げたばん	真室川生まれの人気パン店	—	—	○
青いどんぐりと風	とんぼ玉と草木染ストール	—	○	○	Umui	いつも通りのUmui飯	—	—	○

り 伝統系エリア(森の停車場)出展者のご案内



網掛は「体験あり」のブースです。

出展者	出展内容	28日	29日	30日	出展者	出展内容	28日	29日	30日
手づくり工房三里	つる細工オブジェ	○	○	○	真室川伝統工芸品つる細工研究会	山葡萄皮や胡桃皮の細工各種	○	○	○
YUIKOUBOU	植物繊維の装飾品	○	○	○	南新庄東山焼	カップ&ソーサー・お皿	○	○	○
工房森の精	木の笛や木工雑貨	○	○	○	木っばや	山葡萄皮細工	○	○	○
丁山工房	山葡萄皮細工	○	○	○	小物ぶどう屋	山葡萄樹皮のストラップ	○	○	○
平枝地区炭焼き保存会	ミニ炭俵	○	○	○	ひょうたんの灯り	ひょうたん細工	○	○	○
うるし工房学	真室川の漆を使った漆器づくり	○	○	○	秋田・川連 寿次郎	川連漆器のテーブルウェア	○	○	○
					kibonブローチ	伝統工芸山形彫像の彫刻から生まれたアクセサリ	—	○	○

ぶ 手仕事ストリート(栄町商店街)出展者のご案内



網掛は「体験あり」のブースです。

出展者	出展内容	28日	29日	30日	出展者	出展内容	28日	29日	30日
BANWANROSE	他にはないクールでカワイイ手作り洋服	—	G	G	手仕事工房ふれあい	つる細工・藁細工製品各種	な	S	S
Twinkuru	世界にひとつのオリジナル麻糸バッグ	—	H	H	流木アート松田	流木を素敵な家具に生まれ変わらせます	—	T	T
る一つ企画	写真家と絵描きの表現ユニット。写真絵本	な	I	I	Cherieの家	持っているステキといわれるバッグ	—	A	A
工房ストロー	藁細工いろいろ	な	J	J	十文字和紙	伝統和紙の帽子や小物	—	B	B
シヤ風〜工房	ペットボトル風車と便利ストープ	な	K	K	天然石アクセサリ工房「翠聖」	天然石アクセサリ	—	C	C
3ML WORKS	面白いと思える木製品を提案	—	L	L	しょうえい	北海道の木でアクセサリや生活雑貨	—	E	—
One2	日本の木の皿・積み木	—	M	M	工房と☆あ〜る	色とりどりの米袋バッグ	—	D	—
(有)鏡畳店	畳プロダクト・い草グッズ	—	P	P	rin-ne	暮らしに寄り添う布もの	—	F	—
木工房榎舎	広葉樹でつくる椅子・机	—	Q	Q	工房のさん	トンボ玉のアクセサリ	—	—	D
itonami	昔ながらの麻の繊維から糸や布などのモノづくり	—	R	R	蔵六面工房	50種の張子面と張子人形	—	—	E

◎クーポン券◎

イベント出展者ブースでのお買い物金額に応じて今回のイベントエリアに立地する14店(右図①~⑭)でイベント期間中から7/15(月)まで使えるお得なクーポン券が発行されます。是非地元の商店にも足をお運びください





この山門は、旧朝日村大網の湯殿山大日坊の総門であったが、昭和36年に正源寺23世閑雲旭處和尚（かんうんきよくしよおしょう）によって正源寺に移築されたものである。高さ13m、間口9.7m、奥行6.1m、12脚の堂々たる楼門である。入母屋造りの大きな屋根、楼上の欄干付き回廊、花頭窓などの特徴がある。材はスギである。屋根が茅葺きであったが、移築後、銅板葺きに改められた。江戸時代末期の建築とみられ、湯殿山信仰の盛時を偲ばせる貴重な建造物である。平成元年12月16日、町の文化財に指定。

【メモ】



真室川町大字釜淵字五郎前出土（身長 23.4 cm大洞 A'式）。この土偶は大正4年、田んぼだった釜淵字五郎前遺跡から発見された。縄文時代晩期の完全な形をした貴重な完形土偶で、多くの専門誌や美術誌に掲載され、海外にまで紹介されている。内部は空洞で、色は赤みがかった褐色をし、頭髪は大きく束ねて髷のような形をしている。肩から乳が張り出し、腰にパンツのようなものをつけ、太い両足を持っている。焼成後に朱を塗ったらしく一部にそのあとが残されている。昭和40年5月29日、国の重要文化財に指定。

【メモ】

⑥鮭延秀綱公墓（新町：正源寺）



近江国佐々木源氏出身で最上地域の北部を治めていた鮭延貞綱の息子秀綱の墓。秀綱は鮭延城主の時に最上義光による鮭延城攻めを受け、後に最上家の家臣となり活躍。しかし、最上家がお家騒動により改易となると老中土井利勝預かりの身となり、最後は茨城県古河市（姉妹都市）で84歳の生涯を閉じた。自らの財産を家臣たちに分け与え、自身は家臣たちの家を転々としながら過ごしたとされる。茨城県古河市には秀綱の菩提寺として鮭延寺が建立されている。

【メモ】



近江国佐々木源氏出身で最上地域の北部を治めていた鮭延貞綱が居城として築城。貞綱の息子秀綱のときに最上義光による鮭延城攻めが行われたが、城を落とすのに2年を要し、その堅固さから北の要害と名を轟かせた。秀綱が最上家改易で老中土井利勝預かりの身になると、新庄藩祖戸沢政盛が仮城として入るが、3年後には新庄市沼田に新庄城を築き、鮭延城は廃城となった。

【メモ】

鮭延氏(佐々木氏) 略歴

文明 8年 (1476) 佐々木綱村、近江国より下り仙北小野寺氏の関口の番城を預かる
 天文 4年 (1535) 貞綱のとき、戸沢村岩鼻に入る この頃、鮭延城を築く
 永禄 5年 (1562) 秀綱誕生
 永禄 6年 (1563) 庄内武藤氏より岩鼻権を攻められる 秀綱2歳で武藤氏の人質となる
 天正10年 (1582) 秀綱21歳のとき、庄内から戻り鮭延城主となる
 天正13年 (1585) 最上義光による鮭延城攻めの後、最上家の家臣となる
 元和 8年 (1622) 最上家改易 秀綱、老中土井利勝の預かりとなる
 元和 9年 (1623) 秀綱罪を許され、下総国佐倉藩(千葉県)へ、五千石を賜り土井利勝の寄人となる
 寛永10年 (1633) 土井利勝の古河藩(茨城県)転封に伴い、秀綱も移る
 正保 3年 (1646) 秀綱没する(享年84歳) 家臣14名が土井家に仕官する
 慶安元年 (1648) 秀綱の菩提寺として鮭延寺が建立される(茨城県古河市)



鮭延城跡から真室川町を望む

-  JR真室川駅から 車で5分
 徒歩15分
-  JR羽前農重駅から 徒歩10分

鮭延城跡へのアクセス



真室川町指定史跡

鮭延城跡



鮭延城は別名「真室城」とも言われ、近江国(現在の滋賀県)出身で最上地域の北部を治めた鮭延氏の居城でした。

天文4年、鮭延貞綱が真室郷に城を築きました。その息子である秀綱のときに最上義光による鮭延城攻めが行われましたが、城を落とすのに2年を要し、その堅固さから北の要害と名を轟かせました。

最上家の家臣となった秀綱の活躍はめざましく、長谷堂合戦で上杉の山形侵攻をくいどめ、後に家老になりました。

元和8年の最上家改易に伴い、鮭延秀綱は老中土井利勝の預かりとなり鮭延城を去りました。

元和9年に新庄藩祖戸沢政盛が居城として鮭延城に入りましたが、3年後、沼田に築いた新庄城に移り、廃城となりました。平成7年3月30日、町の史跡に指定されました。

真室川町教育委員会

発行 真室川町教育委員会

山形県最上郡真室川町大字新町 233-1

TEL0233-62-2305/FAX0233-62-2306

鯨延城跡 周辺マップ

兼山城跡(金山)に至る 野々村飛行場跡



モテルコース
Aコース 大手門口 → 曲輪 → 井戸跡 → 虎口 → 大手門 → 本丸
Bコース 大手門口 → 相模川 → 相模川 → 大手門 → 本丸
Cコース 新館堂入口 → 堀切 → 新館堂 → 堀切 → 大手門 → 本丸

- ① 大手門 (からあてもん) 城の裏門で有事の際はここから城外へ逃れた。
- ② 矢竹 矢輪の材料として使用された。
- ③ サイカチ ヲノメ科の澤葉蕨水。五葉は石像の代用や薬として用いた。
- ④ 堀切 (おびくもろ) 城の山腹に付けた細長い堀切で、大手門口には広大な跡が見える。「堀切」とも書かれた。

- ⑤ 曲輪 (くまわ) 城の区画。傾斜地を巡って水平にしてある。
- ⑥ 新館堂 斜面に上下方向に敷けた場。
- ⑦ 堀切 穿通の一種で、源の侵入を防ぐため掘削した家の守りの根点。ここでは三重に掘られている。
- ⑧ 虎口(にぐる) 城の裏所にある出入口。堀切の仕切りもあり、その中を曲折して出入りした。

10 相模川

13 相模川

14 相模川

15 相模川

16 オクミ田

相模山正勝寺
 (相模山正勝寺) 天正18年5月、相模氏の菩提寺として建立した。正面の社大なる山門は、元は源山山太郎の墓門であった。平定元年に町の文化財に指定された。町の重要文化財「土俵」が境内裏手に貞観・秀綱公の墓所がある。
 (上段写真：山門) (下段写真：墓所)

井上野郎殿の御遺跡
 相模源氏の源頼朝の御で、天正13年(徳川は「9年」、源上氏の相模城攻めで戦死した。その後、頼朝が井上野郎を名乗る。

相模源氏 (じんばあ)
 天正13年、源上氏が相模城を攻めた際に築いたもの。北陣跡と南陣跡があり、北陣跡方に本陣と思われる場がある。南陣跡は足利軍の陣跡で、後に足利軍といわれている。

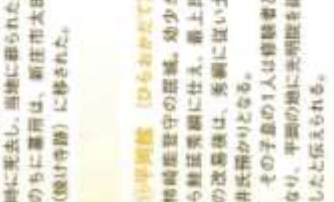
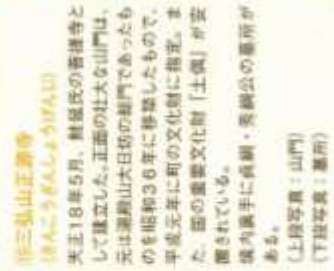
相模源氏 (かんきんふり)
 天正13年、源上氏の相模城攻めの際、源上・相模源氏の討死者を合葬した。毎年慰霊会を開催している。

相模源氏 (ごんたか)
 初代源氏源上戸政盛公の正室、奥室源氏の墓所。相模源氏を居住本拠としていた地に死去し、当地に葬られた。のちに墓所は、新庄市太田(堀切寺跡)に移された。

相模源氏 (ひらおみだて)
 相模源氏の墓所。幼少から相模源氏に仕え、源上氏の改葬後は、秀綱に似い土井氏預かりとなる。その子息の1人は信長と、平岡の地に光明院を建立。武蔵国から相模を持参したと伝えられる。

相模源氏 (おびくもろ)
 加賀郡、相模郡ともいわれ、相模源氏の足利と力などが居住した小正地。当時は惣領が居た。特約など知られる場があったとされる。

相模源氏 (やくしどう)
 ここに安置されている相模源氏は、相模源氏の近江国からの持念仏とされる。相模源氏が流行った時に人々に拝まれたところ、たちどころに消滅したといわれている。白鳳文化の特徴をもちあがっている。
 (写真：相模源氏像)





本像は白鳳時代の仏像の特徴をよく表している。高さ 54.5 cm、座高 38.1 cm、重量 19.5kg の銅造鍍金像（ときんぞう）で、頭頂から足先まで鑄型で一挙に鑄造された像である。形は古い倚像形式で、頭部が大きく、両頬の肉付きが豊かな童顔の表情から白鳳時代末から天平時代初めの制作と考えられている。本像は戦国時代当地方を領した近江源氏佐々木氏が近江国鯉江（現在の滋賀県）から持参して来たと伝えられ、初代城主鮭延貞綱時代に悪疫流行の折、城南に堂を建立して土民に参拝させたと云われる。昭和 62 年 6 月 6 日、国の重要文化財に指定。

【メモ】

国指定重要文化財

どうぞうによらいいぞう 銅造如来倚像

真室川町文化財保護委員会

銅造如来倚像は、鮭延城跡南側高台にある山神社境内の薬師堂に安置されている。

鮭延城は、戦国時代この地方一帯を支配した鮭延氏の居城であり、鮭延氏はもと佐々木姓であり、近江国鯉江庄（現在の滋賀県東近江市地内）の下司職であったが、佐々木重綱のとき一族の内紛があり、綱村のとき出羽国に降り鮭延城を居城とした。

その後の永禄時代、この地に悪疫が流行し、毎日多くの士民が亡くなった。当主であった鮭延典膳貞綱公は大変心配され、本国滋賀県から伝来した如来像を奉じて城の内外を巡行し、みんなに参拝させたところ、みな全快したので大変喜ばれた。その後、城内に御堂を建立して引き続き士民に参拝させ、毎年縁日には祭礼をするようになった。

この仏様は、子どもと遊ぶことを無上の楽しみとしているといわれ、子ども達はこの御堂に集まり仏様と遊び、仏様に緑青（ろくしょう）が出ると下の小川に持って行き、洗ってやったという。

堂内には無数の穴あき石が奉納されているが、目の不自由な人や耳の遠い人が、先が見えるように耳が聞こえるようにとしたものである。ほかにも皮膚病や流行病にも格別の効力があるといわれ、参拝する人で賑わっていた。

銅造如来倚像は倚座型式の黒褐色のなめらかな鑄肌の銅製で、製作当初は全身に金箔が貼られていたが、今は目や耳朶等に痕跡が残されている。

総重量 19.5 kg、総高 54.5 cm。制作年代は白鳳時代といわれ、昭和 62 年に国の重要文化財に指定された。

昭和 59 年	3 月 19 日	真室川町文化財に指定
昭和 60 年	8 月 16 日	山形県文化財に指定
昭和 62 年	6 月 6 日	国重要文化財に指定



⑨真室川飛行場跡（野々村）



昭和 11 年（1936 年）、真室川村は経済更正政策の一環として、塩野台地（野々村、共栄、神ヶ沢）に飛行場を建設。同 15 年には陸軍の飛行場に転用、熊谷航空隊北部分隊の訓練施設となった。広さは 450ha、滑走路約 300 m、常駐隊員 100 名を数え、兵隊のいる村として賑わいを見せた。昭和 20 年（1945 年）になると米軍機による爆撃は地方にも及び、軍の飛行場となった当町、そして隣村の石名坂地区は、特に攻撃の対象となった。敗戦間際の 8 月 10 日、米軍機百数十機による空襲は、午前八時半頃と午後三時頃の二回にわたって行われ、飛行場は壊滅的な打撃を受けた。この空襲で神ヶ沢集落のある民家では、10 人家族のうち 6 人の命が奪われた。現在、無残な痕跡は埋め立てられ、大部分は農地となったが、格納庫跡の残骸や、陸軍境界杭などが当時の様子を物語っている。

【メモ】



飛行場杭



① 真室川空襲

真室川町・農業 松沢きみえ(五二)

私の家は真室川飛行場のすぐそばにありました。よく練習機が飛んでいましたので、飛行機には慣れていました。昭和二〇年八月一〇日の午前中、「あらあら今日はすい分低く飛ぶな」と話していたら、いきなりバリバリという音がしました。練習機ではなく敵機でした。機銃が火を噴き、飛行機の操縦士が顔を出して下をのぞいているのが見えました。私の家族は一〇人でした。みんなあわてて外に逃げました。一〇人もそろそろ逃げたので、かえって目立ったのでしよう。追いかけるようにして私たちがめがけ機銃を撃つてきました。

飛行機がいなくなつてから急いで引き返したところ、途中に父と、三つになる一番下の妹を背負った母が倒れていました。母を起こそうとしたところ、背中の妹もろともすでに死んでいました。

が走つてきて「姉ちゃんも生きてたの……」と抱きついてきました。二人で涙が潤るほど泣きました。

夕方になつてようやく飛行機がいなくなりました。飛行場の兵隊達がやつて来ました。二人の弟を連れていました。バラバラになりもうだめだとあきらめてたんですが、兵隊達がどつかに避難させてくれたので無事だったんです。でも、おじいちゃんと三番目の妹が見当たりません。兵隊達が捜してくれました。おじいちゃんは、爆弾で焼けた小屋の中から死んでみつかりました。真っ黒に焼けていました。おじいちゃんは、いつか稲刈りの時に目を突いて、それ以来目が不自由でした。はいずりながら小屋まで逃げたのでしよう。三番目の妹も焼けた家の中から死んで見つかりました。一〇歳でした。三番目の妹は、午前中機銃で目をやられ、片方の目が飛び出してぶら下がったまま一緒にフトンに隠れましたがすっかり弱っていました。私が火のついたフトンをかぶつたまま逃げる時、「姉ちゃんわたしも連れてつて……」と力なく叫んでいたのを記憶しています。妹を見殺しにしたこの身が引き裂かれる思いです。どうする事も出来なかつた自分を今でも恨めしく思っています。

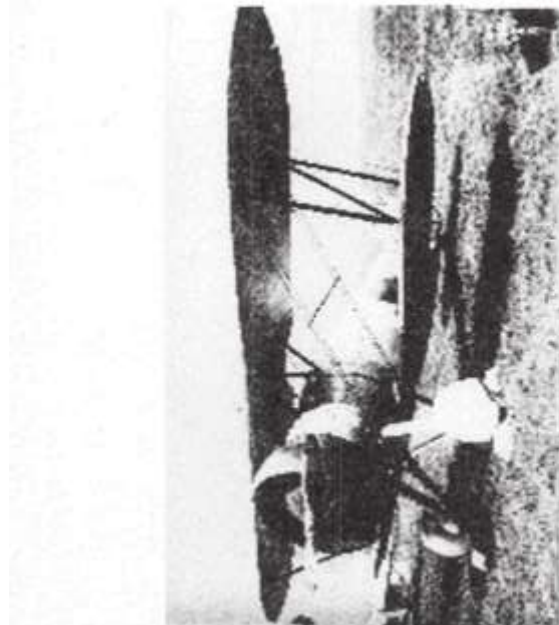
私の家族は一〇人のうち六人が一日がかりで殺されました。生き残つたのは二〇歳の私を頭に妹第四人だけでした。余りにも残酷です。涙も潤れ、ただ茫然とするだけの私たちはその夜から親せきに分散して引き取られました。その年の秋に私の家の田んぼ

一発の機銃弾が妹の小さな背中和母の胸を貫通したのです。父は肩をやられていました。何か言うたびに血がビュウビュウ傷口から吹き上げました。私は何回も父の唇を濡らしてやりました。父は気丈な人で「オレはまだ死ねない……本家の人を呼んで来い。本家にお前達のことを頼まないうちは死ねない……」と喘ぎ喘ぎ言いました。でもなす術もなく父は息を引き取りました。午前中だけで三人も死にました。両親が死んだ時の事を思うと口惜しくて今も涙が出てきます。

午後からも飛行機がやつて来ました。今度は爆弾も落としました。家にあたるとうすぐ火がつく爆弾でした。逃げる間もなく、私は二番目と三番目の妹を抱くようにして頭からフトンをかぶりました。暑い盛りなので二番目の妹が「姉ちゃん、フトンはいで……」と何回も哀願しました。一度はいでみたら玉の汗をかいていました。「飛行機すぐになくなるから」となだめてまたフトンをかぶりました。そのうちに声がしなくなりました。そして、私の肩あたりにぬるぬるしたものが感じられ、生くさい臭いがしてきました。驚いてフトンをはいたら、二番目の妹が頭をやられ、脳みそが全部出ていたんです。揺り動かしてみたんですがびくともしません。もう死んでいたんです。そしてフトンに火がつき背中が熱くなつてきました。私は妹たちをかえりみる間もなく家の前のセキに飛び込んで火を消し、フトンをかぶつたまま近くの林の中に走つて逃げました。動かつたのは自分だけだと思い「死んだ方がよかつた……」と泣いていたら、どこからか一番上の妹

に板小屋を建て再出死しました。農繁期には親せきや近所の人たちに手伝ってもらい、子供四人背り添うようにしてようやくこれまで生きてきました。生き残つた四人は現在それぞれ所帯を構え元気にやっています。でも、地獄のようなあの日の出来事は生涯忘れることは出来ないでしよう。

真室川の被害 死者 六名 傷者十六名



九一式中間練習機
酒野(高トシ)

真室川町史より

【メモ】

【タイムテーブル】

時刻	内容	摘要	所要時間
8:00	受付開始		30分
8:30	開講式	中央公民館玄関ホール	10分
8:40	町概要説明	歴史民俗資料館 (P3)	30分
9:10	バス移動 (資料館⇒秋山スキー場)		
9:20	町内眺望	秋山スキー場頂上 (P4)	10分
9:30	バス移動 (秋山スキー場⇒砂子沢)		
9:45	木造薬師如来座像見学	砂子沢薬師堂 (P5)	30分
10:15	バス移動 (砂子沢⇒まざれや)		
10:20	トイレ休憩	まざれや	10分
10:30	バス移動 (まざれや⇒中村湿原)		
10:40	中村湿原観察	中村湿原 (P8)	40分
11:20	バス移動 (中村⇒真室川駅)		
11:45	昼食 手仕事まつり会場散策	真室川駅～町役場 (P13)	65分
12:50	バス移動 (真室川駅⇒正源寺)		
13:00	山門・土偶・鮭延秀綱公墓 見学	正源寺 (P15)	50分
13:50	バス移動 (正源寺⇒鮭延城跡)		
14:00	鮭延城跡見学	鮭延城跡 (P18)	40分
14:40	徒歩移動		
14:50	銅造如来倚像を見学	内町薬師堂 (P21)	30分
15:20	バス移動 (内町⇒野々村ため池)		
15:30	真室川飛行場跡徒歩見学	野々村 (P23)	40分
16:10	バス移動 (野々村⇒中央公民館)		
16:20	閉講式	アンケート記入	10分
16:30	解散		